



いざみだより

新居浜市立泉川小学校
特別号(学校評価)
令和8年1月

家庭数

12月にお願いしました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果をお知らせいたします。

皆様からいただいた学校評価を真摯に受け止め、泉川CSとして、より良い教育活動の推進に努めて参ります。今後も何卒、ご支援・ご協力を、お願いいたします。

<令和7年度・学校評価アンケート結果>

数値は、「4…あてはまる」

「3…だいたいあてはまる」

「2…あまりあてはまらない」

「1…あてはまらない」

の4観点の平均です。下段は前年度との比較です。

評価項目	児童	教員	保護者
1 いつも笑顔であいさつできる。	3.5 +0.5	2.9 -0.3	3.2 +0.7
2 主体的に学習に取り組めている。	3.3 同じ	3.1 +0.1	3.0 +0.1
3 自分や友達を大切にしている。	3.7 +0.1	3.2 +0.2	3.4 同じ
4 基本的生活習慣や交通ルールが身に付いている。	3.1 同じ	3.0 -0.1	3.4 +0.2
5 安心した環境で、自分が出せている。	3.4 +0.2	3.2 同じ	3.2 +0.1
6 子どもの良さを大切にした教育活動を行っている。	3.3 同じ	3.7 +0.4	3.3 +0.1
7 ユネスコスクール、コミュニティ・スクールとして、地域のつながりを大切にした教育活動を行っている。	3.4 同じ	3.8 +0.4	3.4 +0.1
8 知的好奇心が高まる教育活動を行っている。	3.2 -0.1	3.3 同じ	3.1 -0.5
9 人を大切にする指導・支援を行っている。	3.7 同じ	3.6 +0.2	3.2 +0.1
10 コミュニティ・スクールとして、学校の様子が分かりやすく伝えられている。	3.4 -0.1	3.5 同じ	3.3 +0.1

<学校評価の考察>

1 全体(児童、教職員、保護者)

前年比、30項目のうち、全体の83%が好転・現状、17%が減少。
「好転」が、過半数の16項目であった。

2 児童

10項目のうち、80%が好転・現状、20%が減少。
「知的好奇心が高まる教育活動」「情報公開」が課題である。

3 教員

10項目のうち、80%が好転・現状、20%が減少。
「挨拶」「基本的生活習慣」が課題である。

4 保護者

10項目のうち、90%が好転・現状、10%が減少。
「知的好奇心が高まる教育活動」が課題である。

5 成果

「主体的な学習」「自分・友達を大切に」「安心した環境の中での自己表現」「子どもの良さを大切にした教育活動」「地域学校協働活動」「人を大切にする指導・支援」の6項目は、児童・教職員・保護者ともに、減少がなかった。

6 課題

全体の17%が、前年度を下回った評価を、真摯に受け止める。

(1) 挨拶…あいさつ運動を継承する。

(2) 基本的生活習慣…学校の共通理念「ならぬことは、ならぬもの」、泉川CSの共通理念「地域の子どもは、地域で育てる」の下、地域学校協働で継続指導する。

(3) 知的好奇心が高まる教育活動…地域・関係諸機関の人材活用を、更に進める。ICT活用に偏向することなく、地域交流を中心に、専門的・体験的な学びを、系統的に積み上げる。

(4) 情報公開…学年だよりの内容を、子どもの視点で改善する。テトルの運用を進める。の観点について課題解決を図り、より良い教育活動を推進する。



<学校関係者評価(学校運営協議会委員より)>

- 学校行事を中心に、地域学校協働活動が、大切に継承されている。
- 保護者・地域住民と児童との交流の場が、大切にされている。

- 学校行事・授業等への積極的な参加など、学校と地域住民とのより良い関係性がある。
- 学校と地域(泉川CS)とのコミュニケーションがとれている。

- 全体的に、学校が落ち着いている。

- マラソン大会では、走るのが苦手な児童も、最後まであきらめずに走る姿に感動した。

- 元気に挨拶する児童が増えた。

- 不登校児童の増加に驚いている。

- 対応として専門性が必要であるが、低学年時の段階では、まだチャンスがある。
地域の一員として、何か協力したい。

- 校長・教頭と話し合う機会はあるが、管理職以外の先生との対話の場も必要。

- 共働きが増え、様々なつながりを持てない家庭もある。

- コミュニケーションとして、親子でできることを、伝えていきたい。

<課題解決へ向けた積み上げと改善策>

1 いつも笑顔であいさつ

- おとなから挨拶をする
- 時と場所に応じた挨拶・会釈をする
- 「目・耳・心」で聴く共感的受容・支持的風土の醸成
- 「人とのつながり」を大切にした教育活動の推進
- おとな(教職員、家庭、地域、関係諸機関)による見守り・見届け
- あいさつ運動(6年生)・あいさつキャッチボールデイの継承

2 主体的な学習

- 地域の先人・素材・人材を活用した学習・体験活動の推進
- 「習得→活用→探求」による学習の深化
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と地域の人材活用
- ICT活用による学習成果の共有・深化
- 系統的(小・中学校9年間)・横断的(総合単元的)な学習の推進
- 自尊感情・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

3 自分や友達を大切に

- 「目・耳・心」で聴く共感的・支持的風土の醸成
- 「人とのつながり」を大切にした教育活動の推進
- 「いじめ・差別を絶対に許さない」集団づくり
- 各種委員会活動(常時活動)の積み上げ

4 基本的生活習慣や交通ルールの定着

- 学校の共通理念「ならぬことは、ならぬもの」の継承
- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- おとな(教職員、家庭、地域、関係諸機関)による見守り・見届け
- 子どもの視点による安全管理・危機管理
- チェック機能の定期的な点検・分析・改善
- エーデルワイス(予鈴)の徹底・継承
- 各種委員会活動(常時活動)の積み上げ

5 安心した環境の中での自己表現

- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- おとな(教職員、家庭、地域、関係諸機関)による見守り・見届け
- 「目・耳・心」で聴く共感的・支持的風土の醸成
- 「地域の子どもは地域で育てる」を共通理念とした教育活動の推進
- 「いじめ・差別を絶対に許さない」集団づくり

- 子どもの視点による安全管理・危機管理
- チェック機能の定期的な点検・分析・改善

6 子どもの良さを大切にした教育活動

- 「目・耳・心」で聴く共感的・支持的風土の醸成
- 「こどもまんなか社会」を大切にした教育活動の推進
- 「習得→活用→探求」による学習の深化
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と地域の人材活用
- 自尊感情・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

7 ユネスコスクール、コミュニティ・スクールとして地域のつながりを大切にした地域学校協働活動

- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- おとな(教職員、家庭、地域、関係諸機関)による見守り・見届け
- 「幼保小・小中連携」「コミュニティ(地域)とスクール(学校)の双方向の交流
- 「人とのつながり」を大切にした教育活動の推進

8 知的好奇心が高まる教育活動

- 地域の先人・素材・人材を活用した学習・体験活動の推進
- 「習得→活用→探求」による学習の深化
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と地域の人材活用
- ICT活用による学習成果の共有・深化
- 系統的(小・中学校9年間)・横断的(総合単元的)な学習の推進
- 自尊感情・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

9 人を大切にする指導・支援

- おとな(教職員、家庭、地域、関係諸機関)による見守り・見届け
- 「幼保小・小中連携」「コミュニティ(地域)とスクール(学校)の双方向の交流
- 「目・耳・心」で聴く共感的・支持的風土の醸成
- 「人とのつながり」を大切にした教育活動の推進
- 「いじめ・差別を絶対に許さない」集団づくり
- 教職員の資質・能力(専門性)の向上と地域の人材活用
- 自己表現・自己実現を大切にしたキャリア教育の推進

10 コミュニティ・スクールとしての情報公開

- 地域定例会を核とした連携(情報共有)・協働(人材活用)
- 「幼保小・小中連携」「コミュニティ(地域)とスクール(学校)の双方向の交流
- 「学校行事の公開」「地域行事への参加」による人的交流
- ICT活用(HP、マチコミメール、テトル、学校だより)による情報公開
- 「地域の子どもは地域で育てる」を共通理念とした教育活動の推進
- 学校だよりの内容を、子どもの視点で改善する。